

III 調查結果

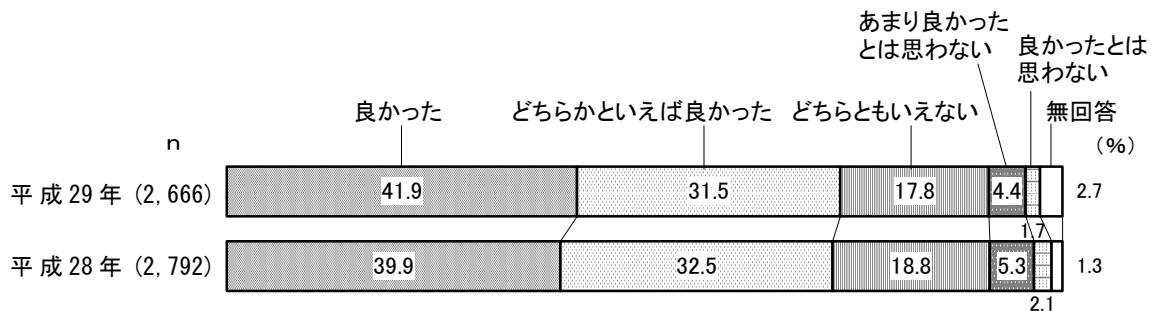
1. 定住意向

(1) 八王子市に住んで良かったと思うか

◇《良かった》が7割強

問1 あなたは、八王子市に住んで良かったと思いますか。(○は1つだけ)

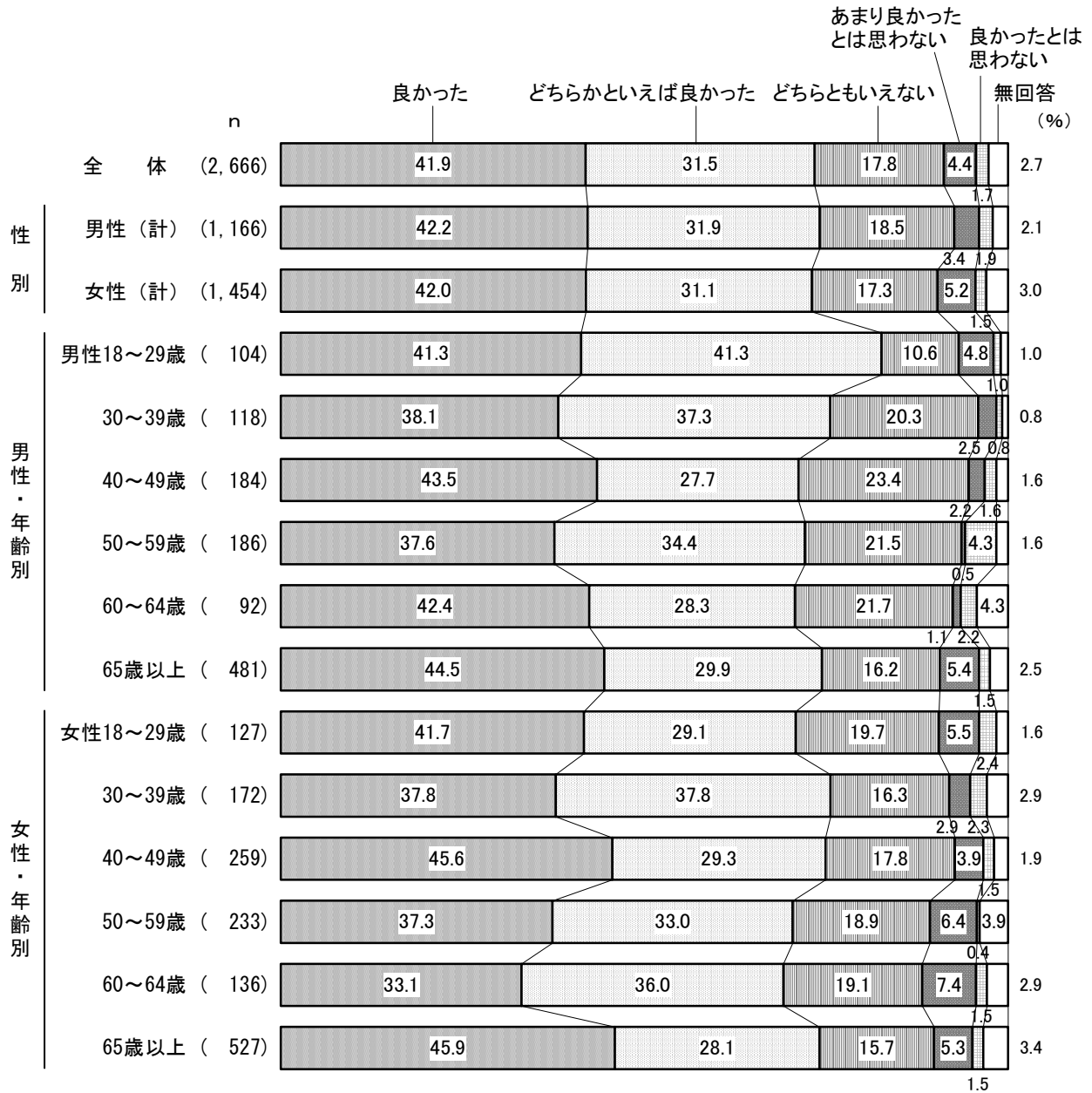
図1-1-1 八王子市に住んで良かったと思うかー全体、経年比較



八王子市に住んで良かったと思うか聞いたところ、「良かった」(41.9%)と「どちらかといえば良かった」(31.5)を合わせた《良かった》(73.4%)は7割強となっている。「どちらともいえない」(17.8%)は2割近くで、「あまり良かったとは思わない」(4.4%)と「良かったとは思わない」(1.7%)を合わせた《良かったとは思わない》(6.1%)は1割近くとなっている。

前回調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-1-1)

図 1-1-2 八王子市に住んで良かったと思うかー性別、性・年齢別

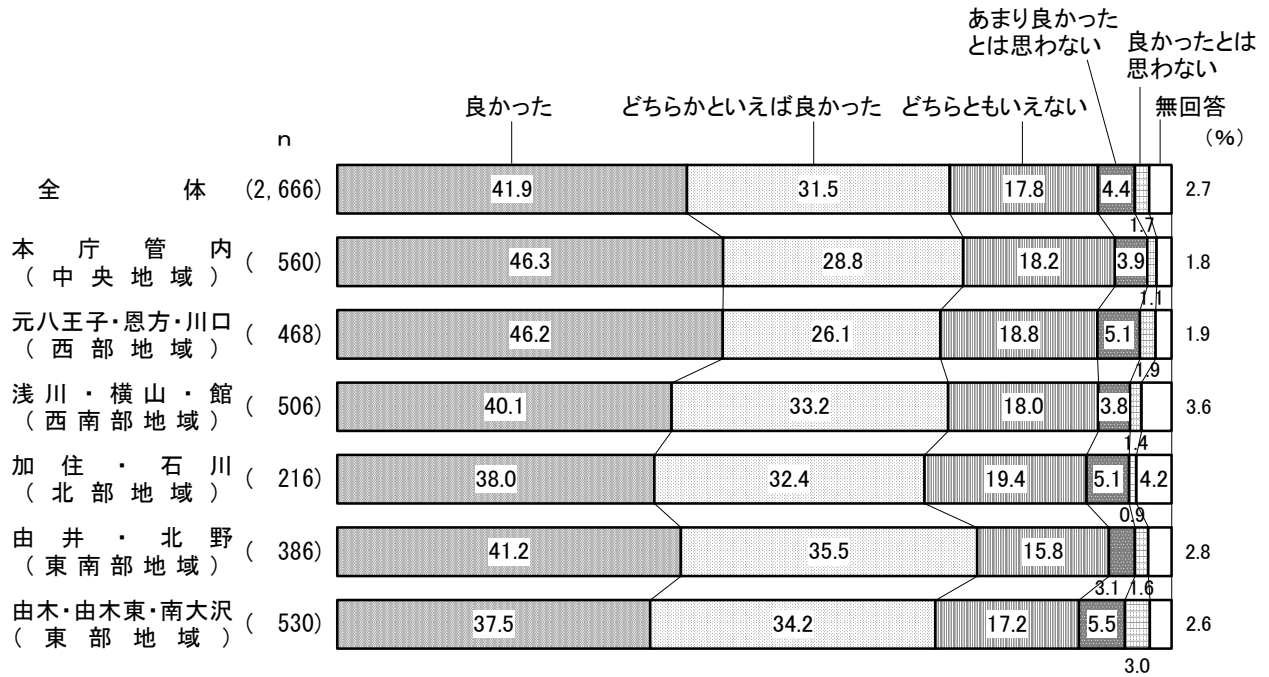


性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、《良かった》は男性18~29歳（82.6%）で8割強と多くなっている。

(図 1-1-2)

図 1-1-3 八王子市に住んで良かったと思うか—居住地域別



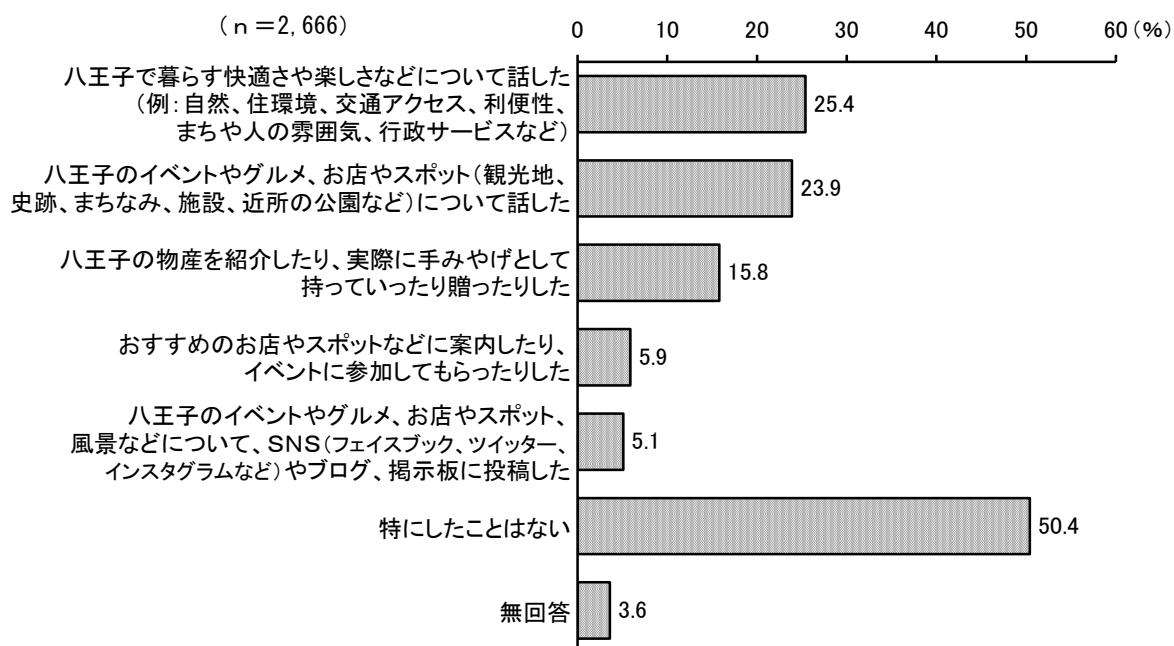
居住地域別にみると、《良かった》は由井・北野（東南部地域）（76.7%）で8割近くと多くなっている。（図1-1-3）

(2) この1年間にした市外の人に八王子の良さを伝える行動

◇「八王子で暮らす快適さや楽しさなどについて話した(例:自然、住環境、交通アクセス、利便性、まちや人の雰囲気、行政サービスなど)」が2割台半ば

問2 あなたは、この1年間のうち、市外の人に八王子の良さを伝える次のような行動をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

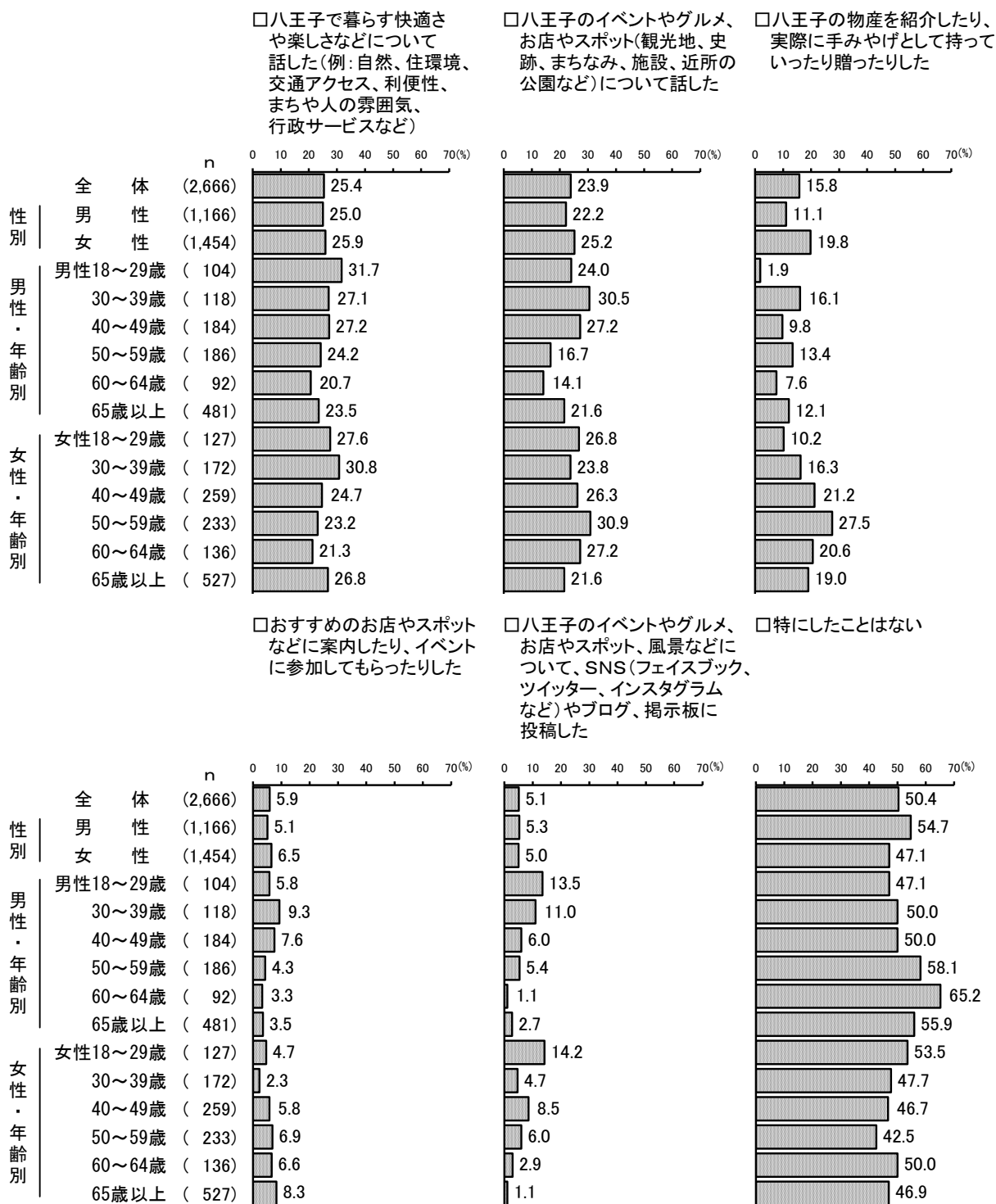
図1-2-1 この1年間にした市外の人に八王子の良さを伝える行動—全体



(注) 設問の内容を変更したため、経年比較はない。

この1年間のうち、市外の人に八王子の良さを伝える行動をしたことがあるかを聞いたところ、「八王子で暮らす快適さや楽しさなどについて話した(例:自然、住環境、交通アクセス、利便性、まちや人の雰囲気、行政サービスなど)」(25.4%)が最も多く2割台半ばとなっている。次いで「八王子のイベントやグルメ、お店やスポット(観光地、史跡、まちなみ、施設、近所の公園など)について話した」(23.9%)、「八王子の物産を紹介したり、実際に手みやげとして持っていったり贈ったりした」(15.8%)などの順となっている。「特にしたことはない」(50.4%)は約5割となっている。(図1-2-1)

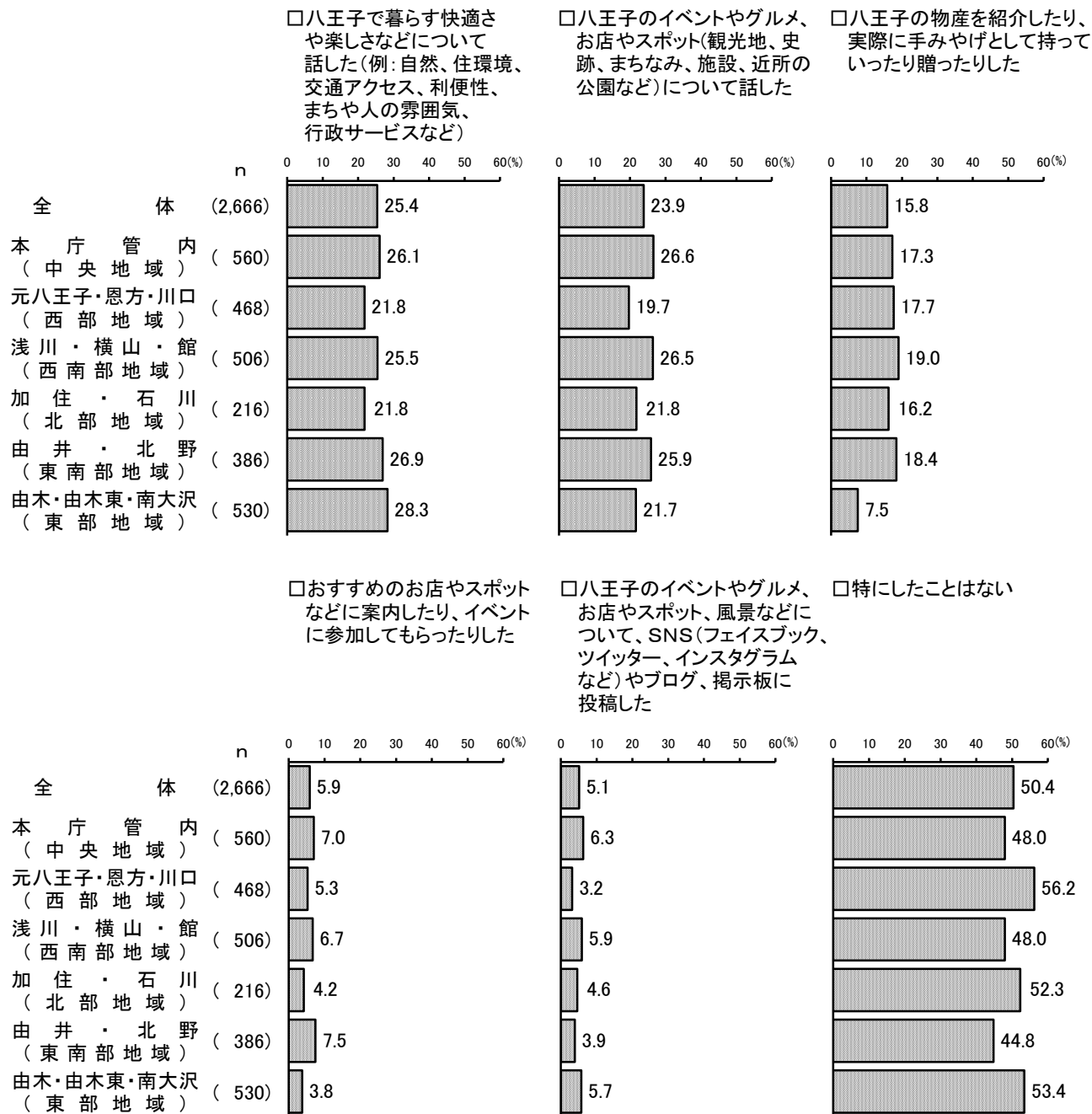
図 1-2-2 この1年間にした市外の人に八王子の良さを伝える行動－性別、性・年齢別



性別にみると、「八王子の物産を紹介したり、実際に手みやげとして持っていったり贈ったりした」は女性(19.8%)が男性(11.1%)より8.7ポイント高くなっている。「特にしたことはない」は男性(54.7%)が女性(47.1%)より7.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「八王子で暮らす快適さや楽しさなどについて話した(例: 自然、住環境、交通アクセス、利便性、まちや人の雰囲気、行政サービスなど)」は男性18~29歳(31.7%)で3割強と多くなっている。「八王子のイベントやグルメ、お店やスポット(観光地、史跡、まちなみ、施設、近所の公園など)について話した」は女性50~59歳(30.9%)と男性30~39歳(30.5%)で約3割と多くなっている。(図1-2-2)

図1-2-3 この1年間にした市外の人に八王子の良さを伝える行動—居住地域別



居住地域別にみると、「八王子のイベントやグルメ、お店やスポット(観光地、史跡、まちなみ、施設、近所の公園など)について話した」は本庁管内(中央地域)(26.6%)と浅川・横山・館(西南部地域)(26.5%)で3割近くと多くなっている。「特にしたことはない」は元八王子・恩方・川口(西部地域)(56.2%)で6割近くと多くなっている。(図1-2-3)

(3) 定住意向

◇《住み続けたい》が9割近く

問3 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

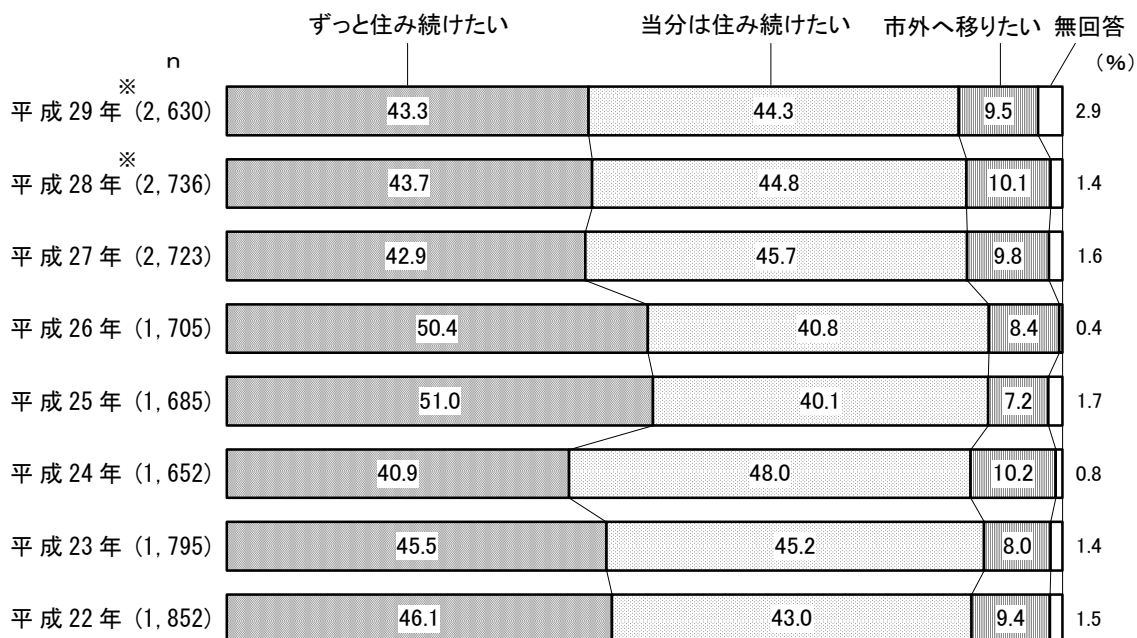
図1-3-1 定住意向—全体、経年比較



これからも八王子市に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(42.9%)と「当分は住み続けたい」(44.6%)を合わせた《住み続けたい》(87.5%)が9割近くと多くなっている。一方、「市外へ移りたい」(9.6%)は1割弱となっている。

前回調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-3-1)

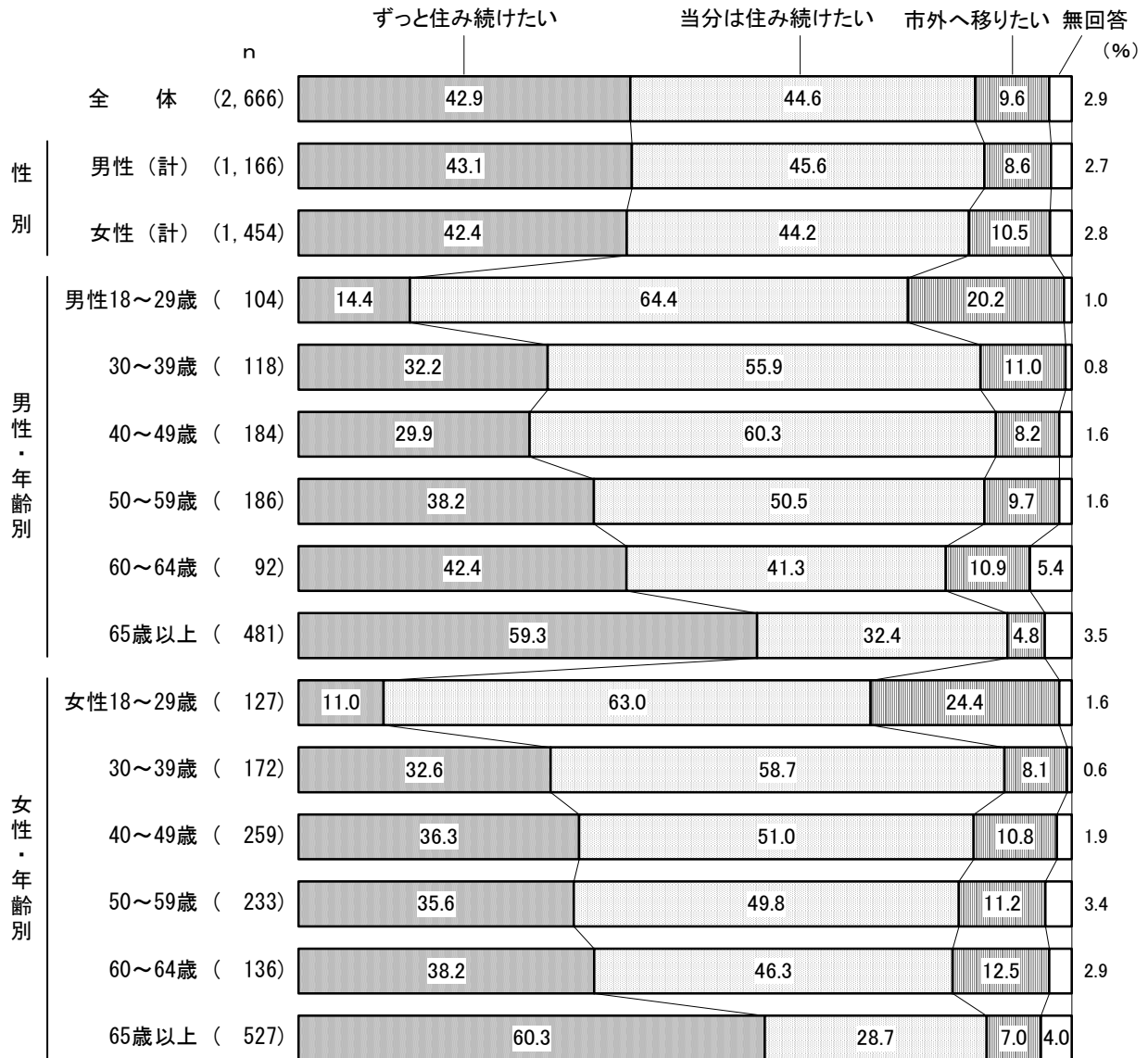
図1-3-2 定住意向—経年比較(過去8年)



※調査対象者を20歳以上としていた平成27年以前の調査結果と比較するため、28年、29年は、18歳及び19歳を除いた数を使用している。

過去8年間の調査結果を比較すると、《住み続けたい》は9割近くから9割強の間を前後しており、大きな傾向の違いはみられない。(図1-3-2)

図 1-3-3 定住意向—性別、性・年齢別

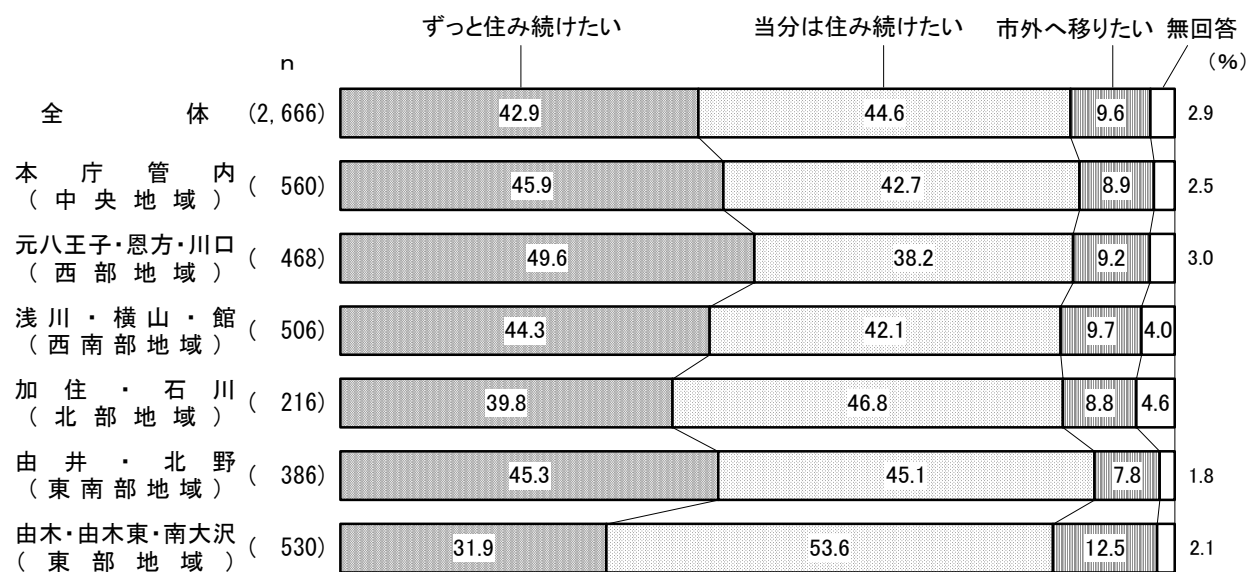


性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は女性65歳以上（60.3%）で約6割と多くなっている。一方、「市外へ移りたい」は女性18~29歳（24.4%）で2割台半ばと多くなっている。

(図 1-3-3)

図 1-3-4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（49.6%）で5割弱と多くなっている一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）（31.9%）では3割強にとどまっている。（図1-3-4）

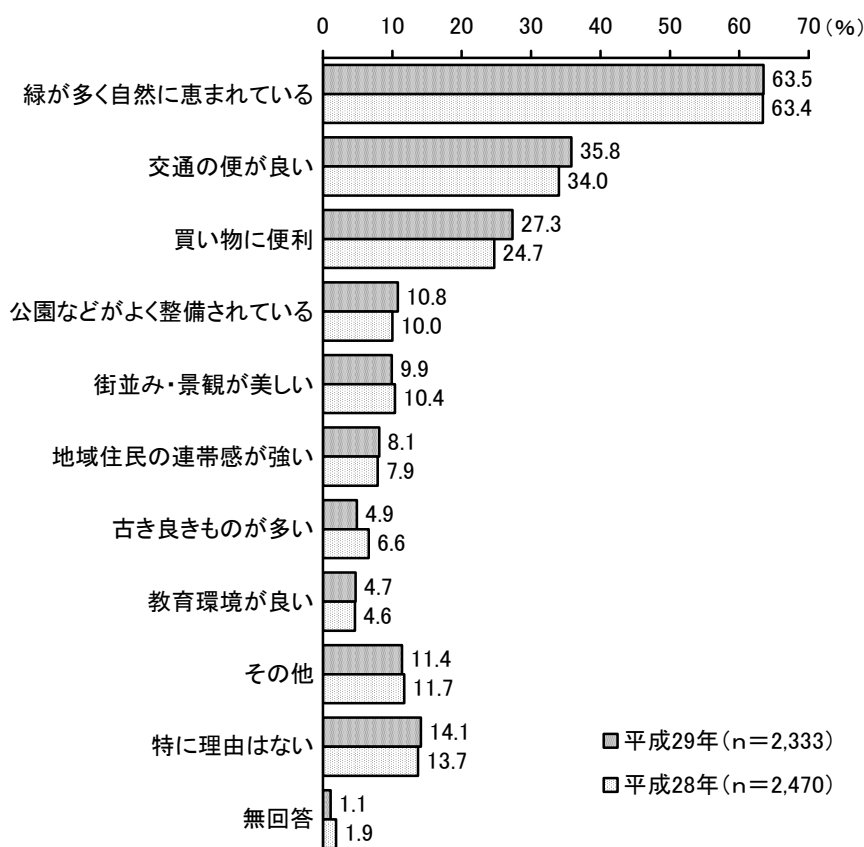
(4) 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割強

(問3で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

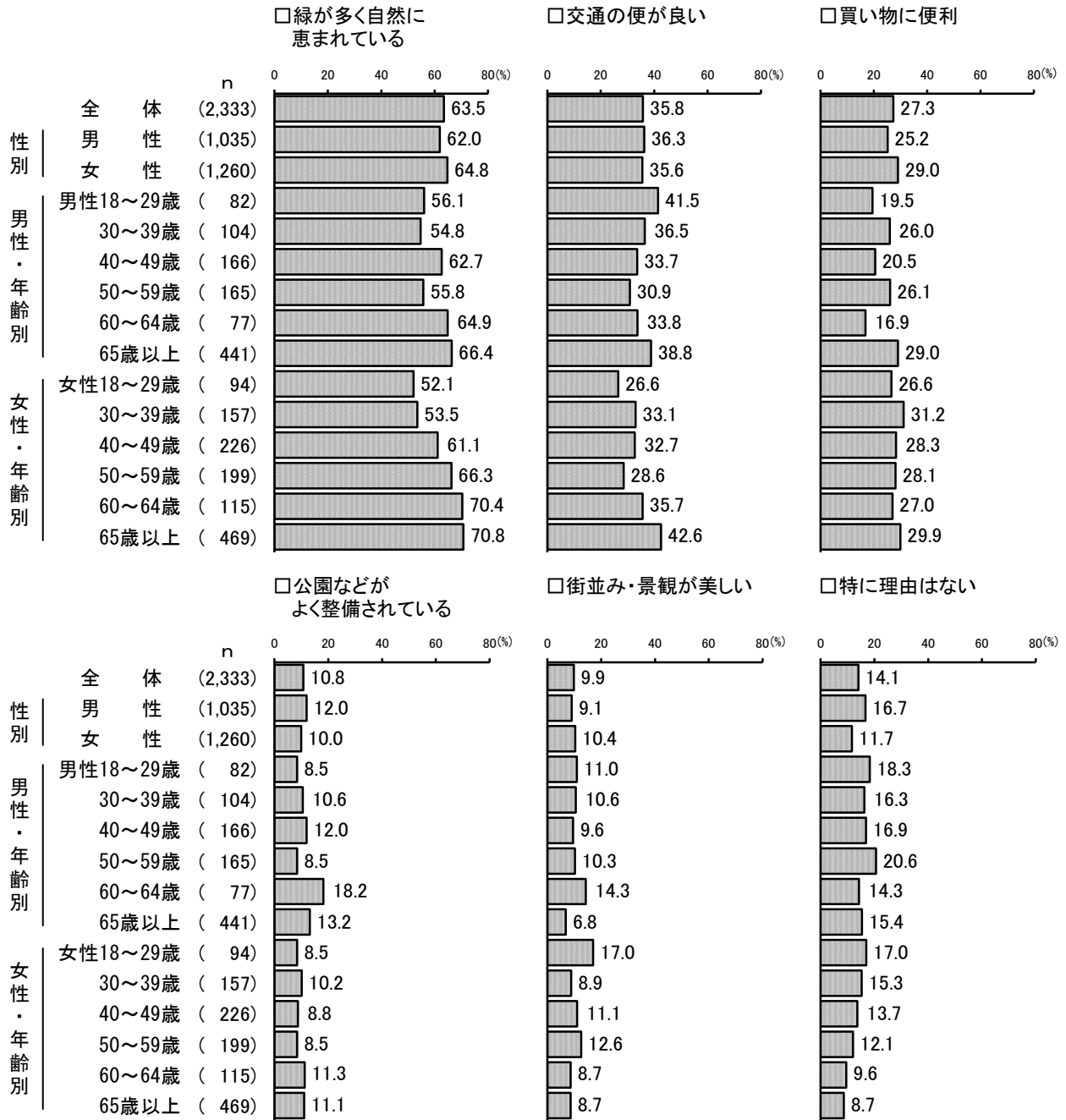
図1-4-1 住み続けたい理由-全体、経年比較



八王子市に「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答した2,333人に、その理由を聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」(63.5%)が最も多く6割強となっている。次いで「交通の便が良い」(35.8%)、「買い物に便利」(27.3%)、「公園などがよく整備されている」(10.8%)、「街並み・景観が美しい」(9.9%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-4-1)

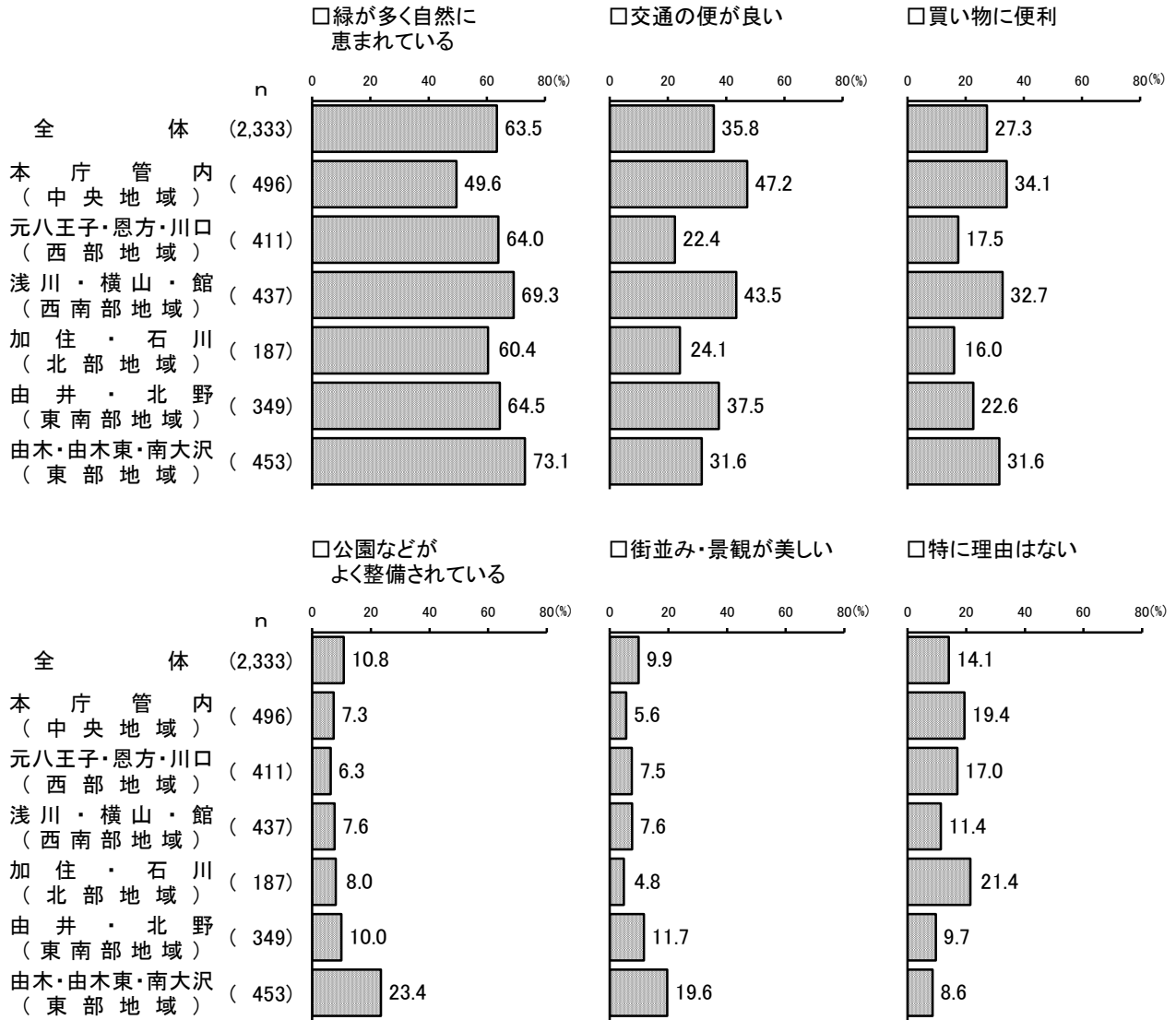
図1-4-2 住み続けたい理由—性別、性・年齢別（上位5位+「特に理由はない」）



性別にみると、「買い物に便利」は女性（29.0%）が男性（25.2%）より3.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性の60~64歳（70.4%）と65歳以上（70.8%）で約7割と多くなっている。「交通の便が良い」は女性65歳以上（42.6%）と男性18~29歳（41.5%）で4割強と多くなっている。（図1-4-2）

図1-4-3 住み続けたい理由—居住地域別（上位5位+「特に理由はない」）



居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（73.1%）で7割強と多くなっている。「交通の便が良い」は本庁管内（中央地域）（47.2%）で5割近くと多くなっている。「買い物に便利」は本庁管内（中央地域）（34.1%）で3割台半ばと多くなっている。「公園などがよく整備されている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（23.4%）で2割強と多くなっている。（図1-4-3）

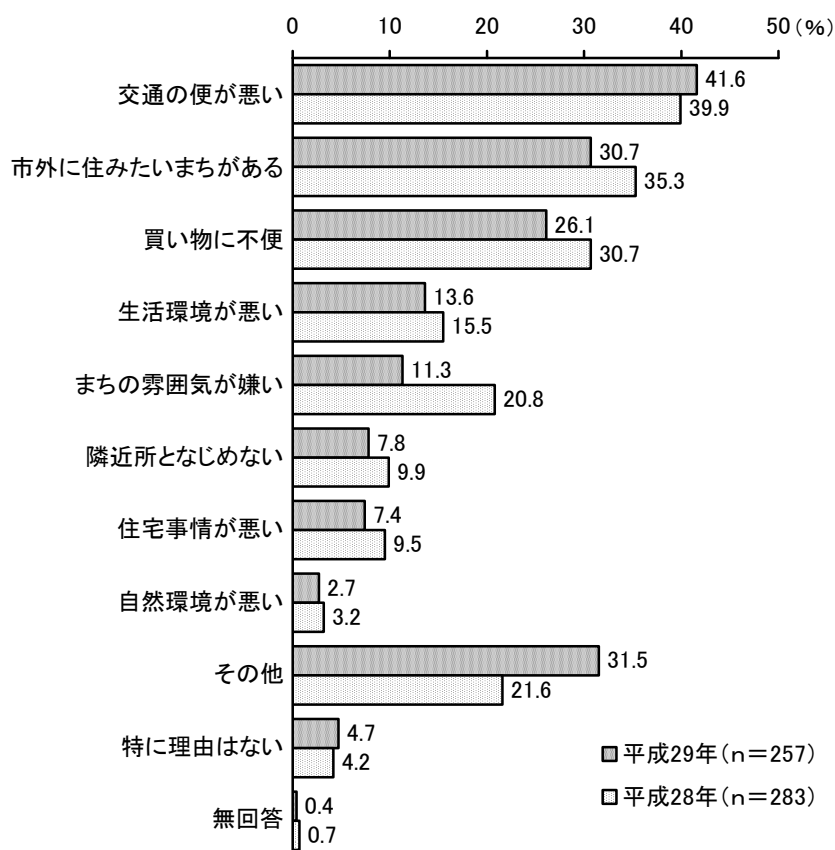
(5) 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割強

(問3で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問3-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

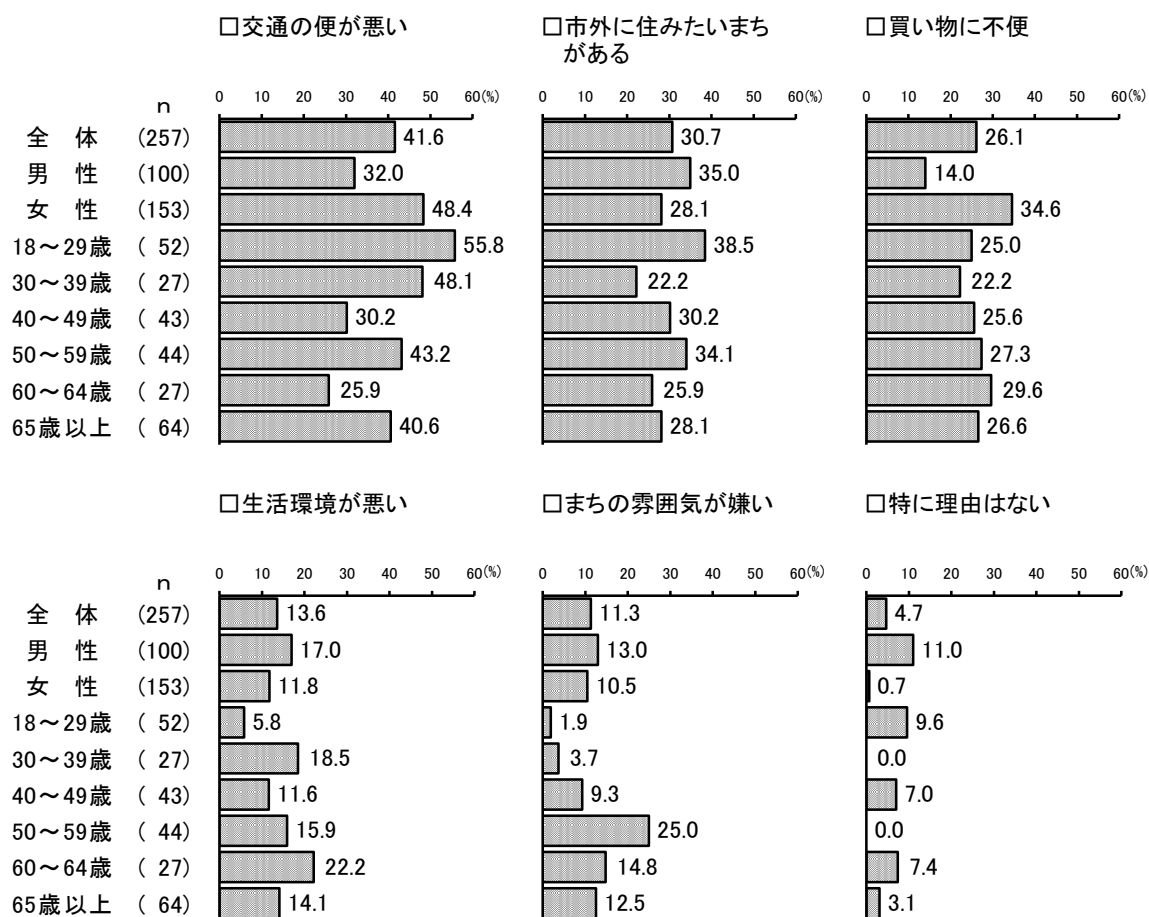
図1-5-1 市外へ移りたい理由-全体、経年比較



八王子市から「市外へ移りたい」と回答した257人に、その理由を聞いたところ、「交通の便が悪い」(41.6%)が最も多く4割強となっている。次いで「市外に住みたいまちがある」(30.7%)、「買い物に不便」(26.1%)、「生活環境が悪い」(13.6%)、「まちの雰囲気が嫌い」(11.3%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「まちの雰囲気が嫌い」は、平成28年(20.8%)より9.5ポイント、「市外に住みたいまちがある」は、平成28年(35.3%)より4.6ポイント、「買い物に不便」は、平成28年(30.7%)より4.6ポイント、それぞれ減少している。(図1-5-1)

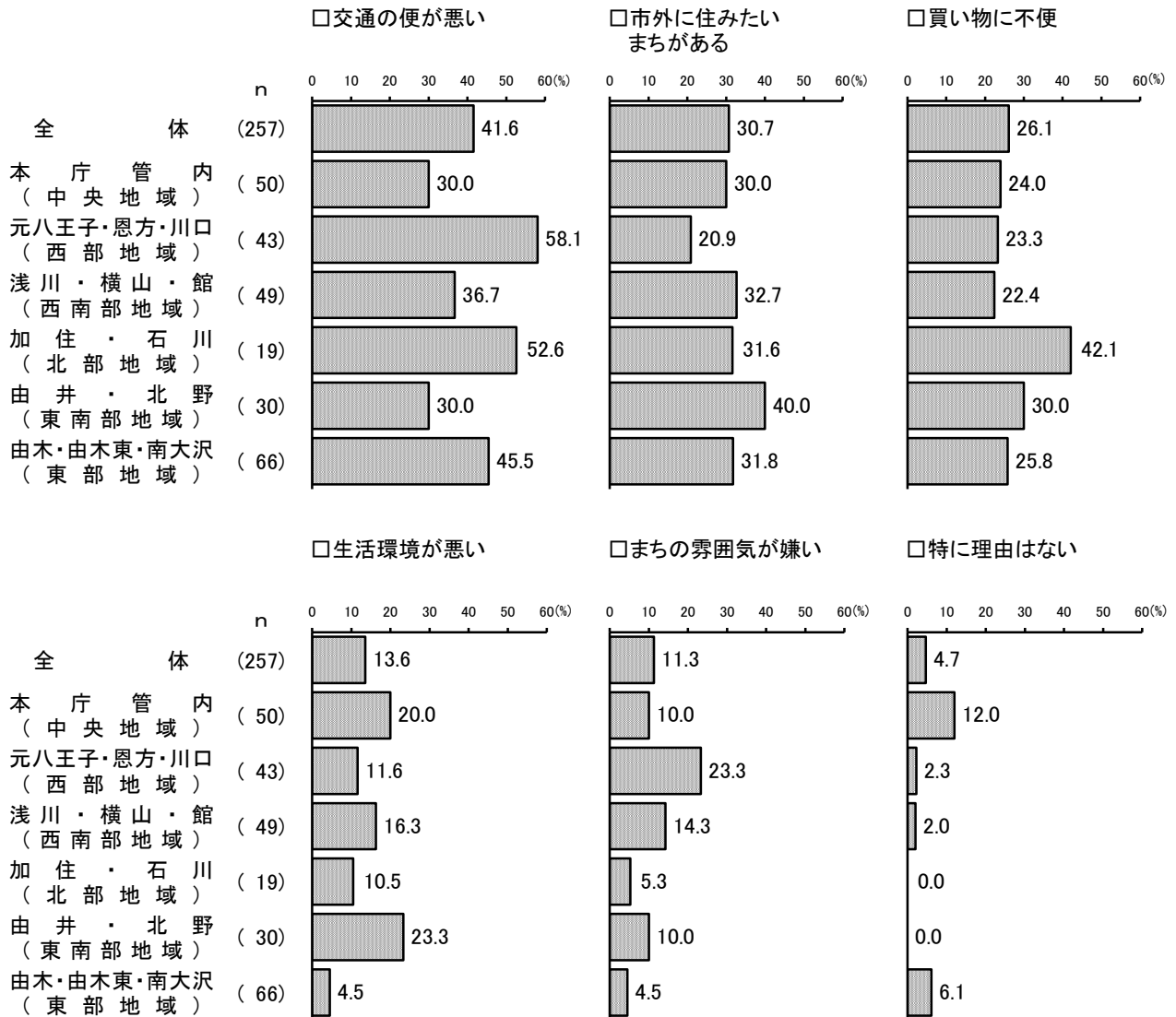
図1-5-2 市外へ移りたい理由—性別、年齢別（上位5位+「特に理由はない」）



性別にみると、「買い物に不便」は女性（34.6%）が男性（14.0%）より20.6ポイント高くなっている。「市外に住みたいまちがある」は男性（35.0%）が女性（28.1%）より6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「交通の便が悪い」は18～29歳（55.8%）で5割台半ばと多くなっている。「市外に住みたいまちがある」は18～29歳（38.5%）で4割近くと多くなっている。「買い物に不便」は60～64歳（29.6%）で3割弱と多くなっている。（図1-5-2）

図1-5-3 市外へ移りたい理由—居住地域別（上位5位＋「特に理由はない」）



居住地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（58.1%）で6割近くと多くなっている。「市外に住みたいまちがある」は由井・北野（東南部地域）（40.0%）で4割と多くなっている。「買い物に不便」は加住・石川（北部地域）（42.1%）で4割強と多くなっている。（図1-5-3）

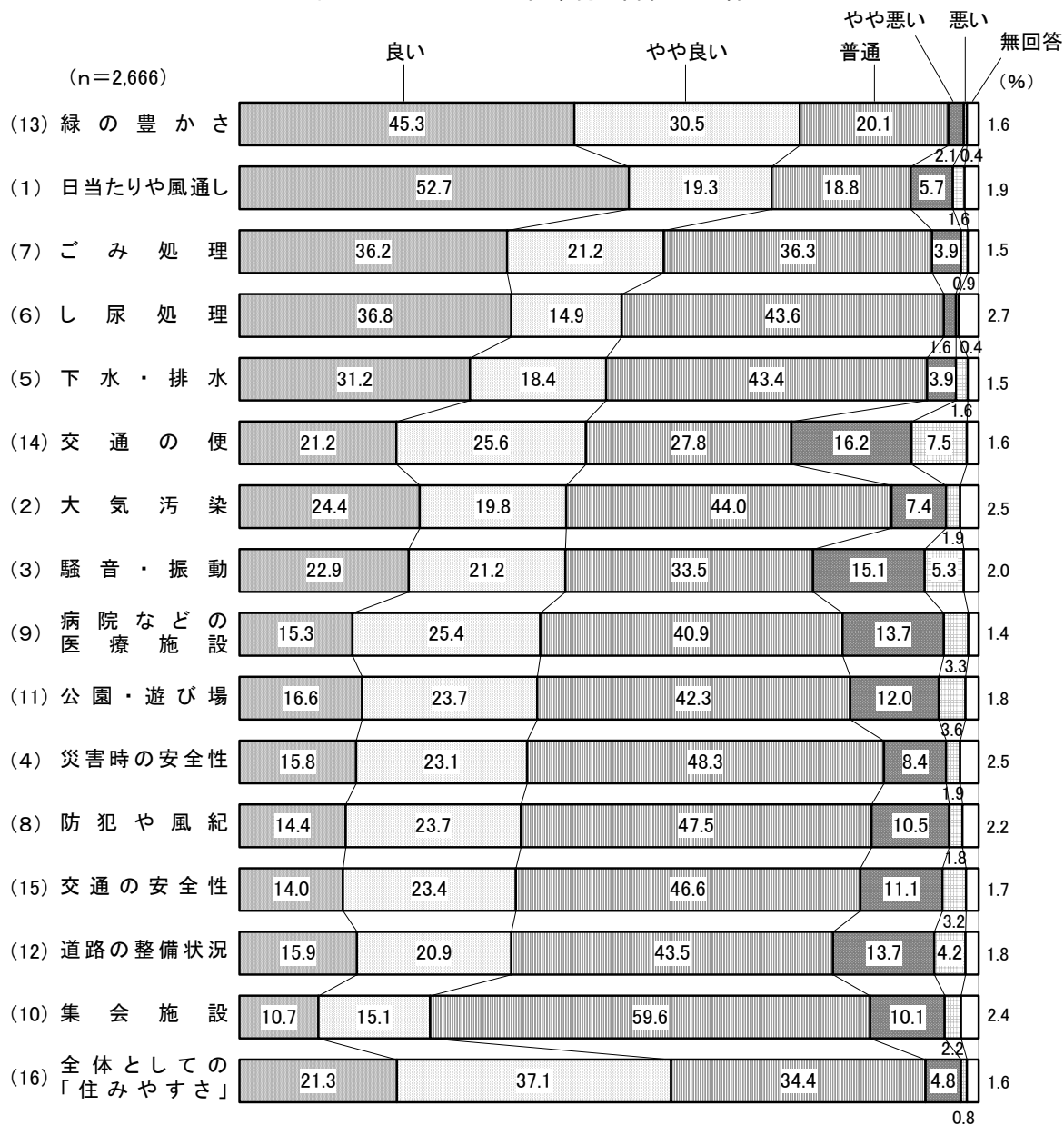
(6) 生活環境の評価

◇《良い》は、「緑の豊かさ」が7割台半ば、「日当たりや風通し」が7割強

問4 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図1-6-1 生活環境の評価—全体



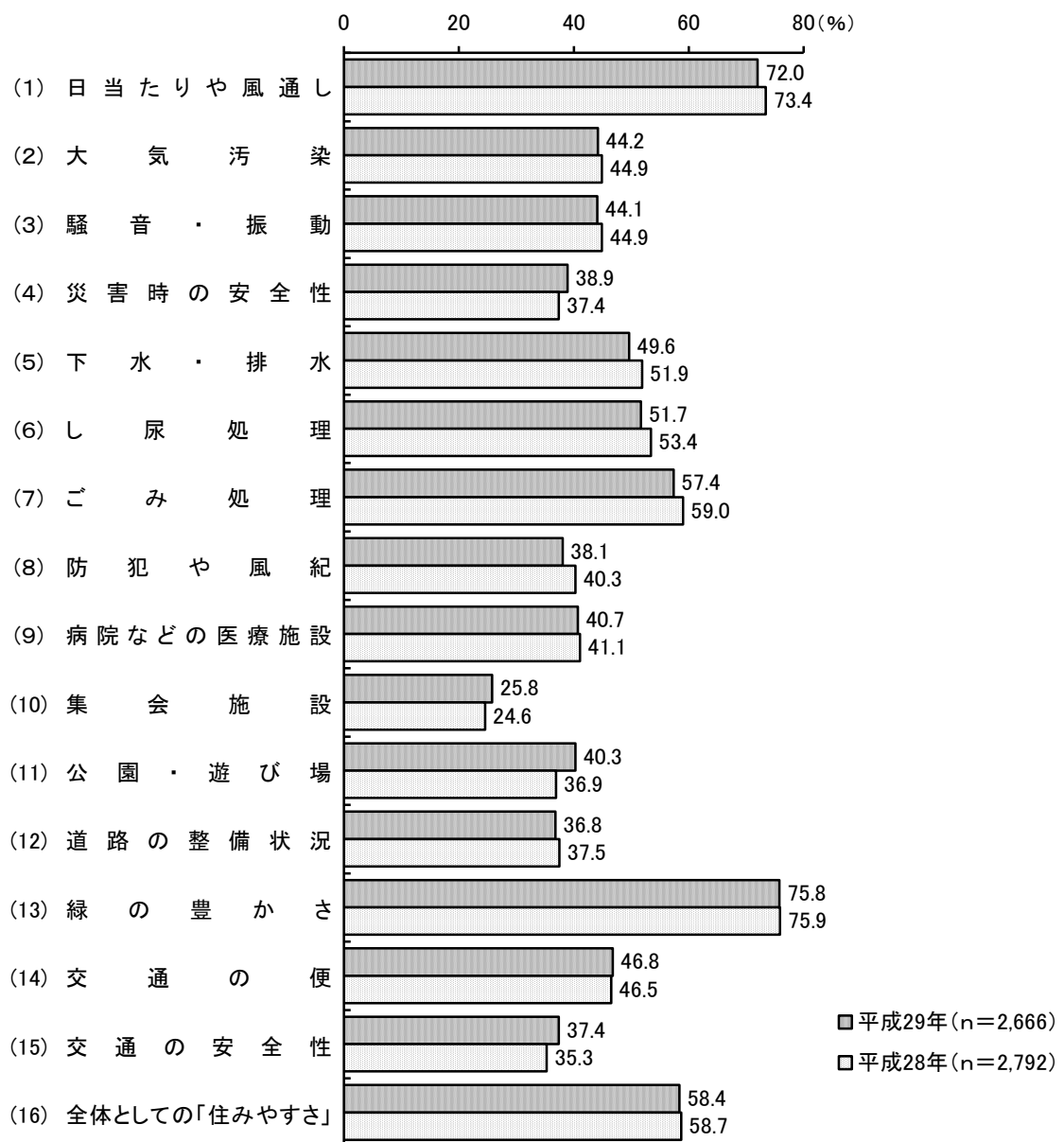
(注) (16) 全体としての「住みやすさ」を除き、「良い」と「やや良い」を合算し、比率の高い順に並べた。

周囲の生活環境について日頃どのように感じているか聞いたところ、「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》は、(13) 緑の豊かさ (75.8%) が最も多く7割台半ばとなっている。次いで(1) 日当たりや風通し (72.0%)、(7) ごみ処理 (57.4%) などの順となっている。一方、「やや悪い」と「悪い」を合わせた《悪い》は、(14) 交通の便 (23.7%) が最も多く2割強となっている。

(16) 全体としての「住みやすさ」は、《良い》 (58.4%) が6割近くとなっている。

(図1-6-1)

図1-6-2 生活環境の評価—経年比較（「良い」＋「やや良い」）



「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》について前回調査と比較すると、(11) 公園・遊び場 (40.3%) が3.4ポイント増加している。

また、前回調査より《良い》の割合が増加したのは5項目で、《良い》の割合が減少したのは(5) 下水・排水 (2.3ポイント減)、(8) 防犯や風紀 (2.2ポイント減) などの11項目となっている。(図1-6-2)

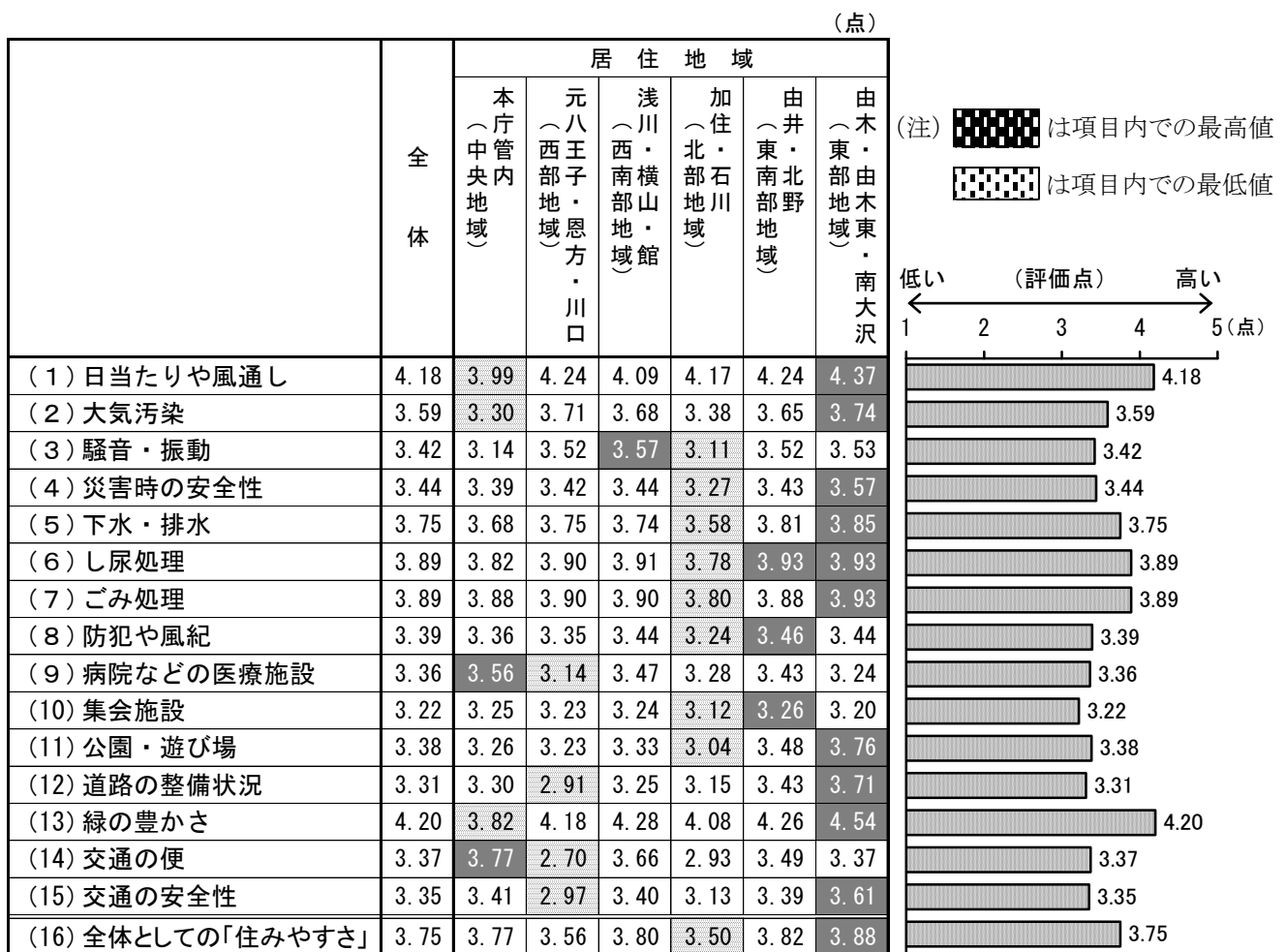
加重平均値（満足度）

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比率をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} \text{評価点} = & \text{【(「良い」の回答者数} \times 5 \text{点)} + \text{(「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点)} \\ & + \text{(「普通」の回答者数} \times 3 \text{点)} + \text{(「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点)} \\ & + \text{(「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点)} \text{】} \div \text{回答者数} \end{aligned}$$

この計算方法では、評価点は5.00点から1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

図1-6-3 生活環境の評価—加重平均（満足度）



以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの5項目は次のようになっている。

【上 位】

緑の豊かさ	(4.20点)
日当たりや風通し	(4.18点)
し尿処理	(3.89点)
ごみ処理	(3.89点)
下水・排水	(3.75点)

【下 位】

集会施設	(3.22点)
道路の整備状況	(3.31点)
交通の安全性	(3.35点)
病院などの医療施設	(3.36点)
交通の便	(3.37点)

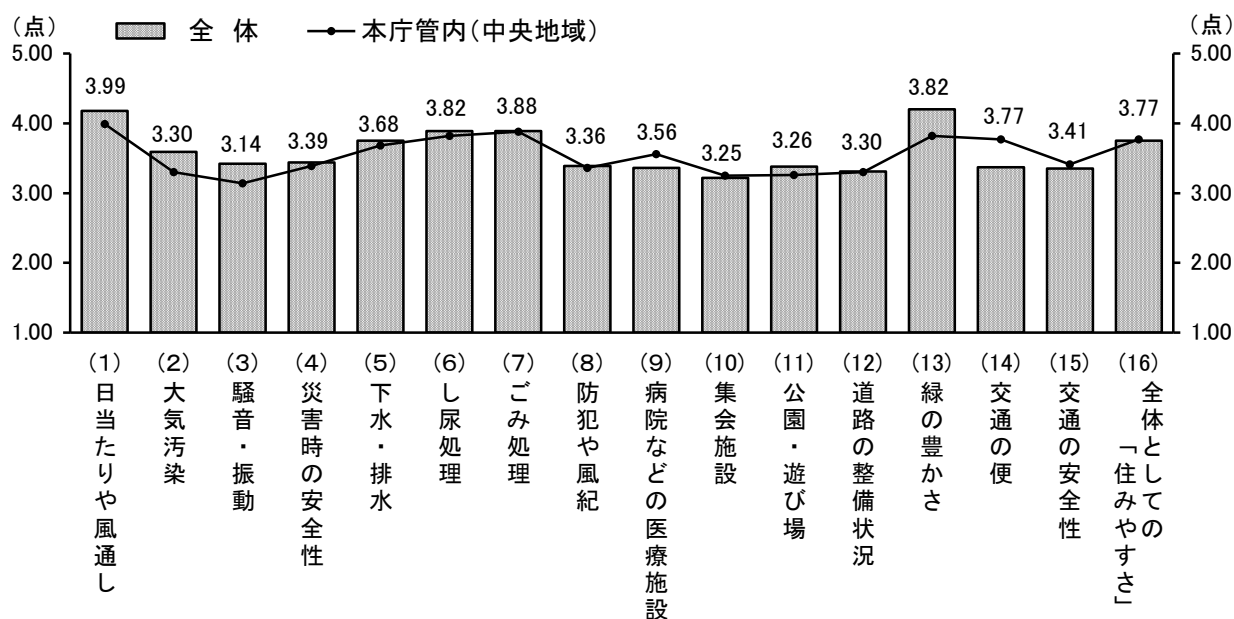
(図1-6-3)

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは16項目中5項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.40ポイント）となっている。下回っているのは16項目中11項目で、最も差が大きいのは（13）緑の豊かさ（-0.38ポイント）となっている。（図1-6-4）

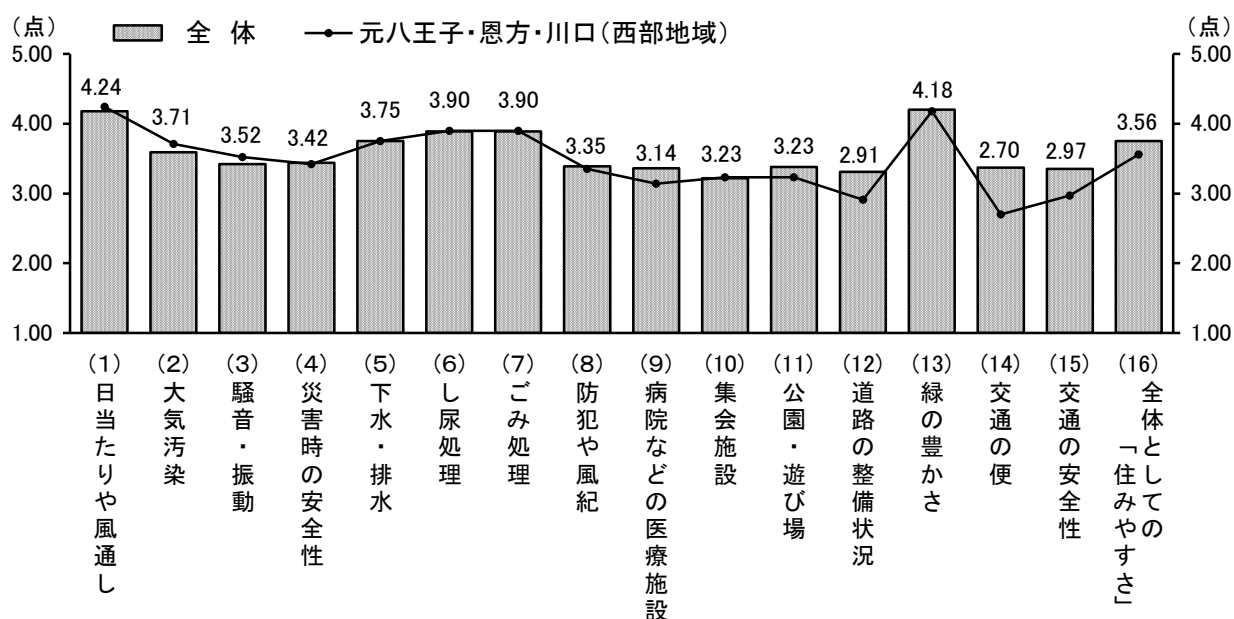
図1-6-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中6項目で、最も差が大きいのは（2）大気汚染（+0.12ポイント）となっている。下回っているのは16項目中9項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（-0.67ポイント）となっている。（図1-6-5）

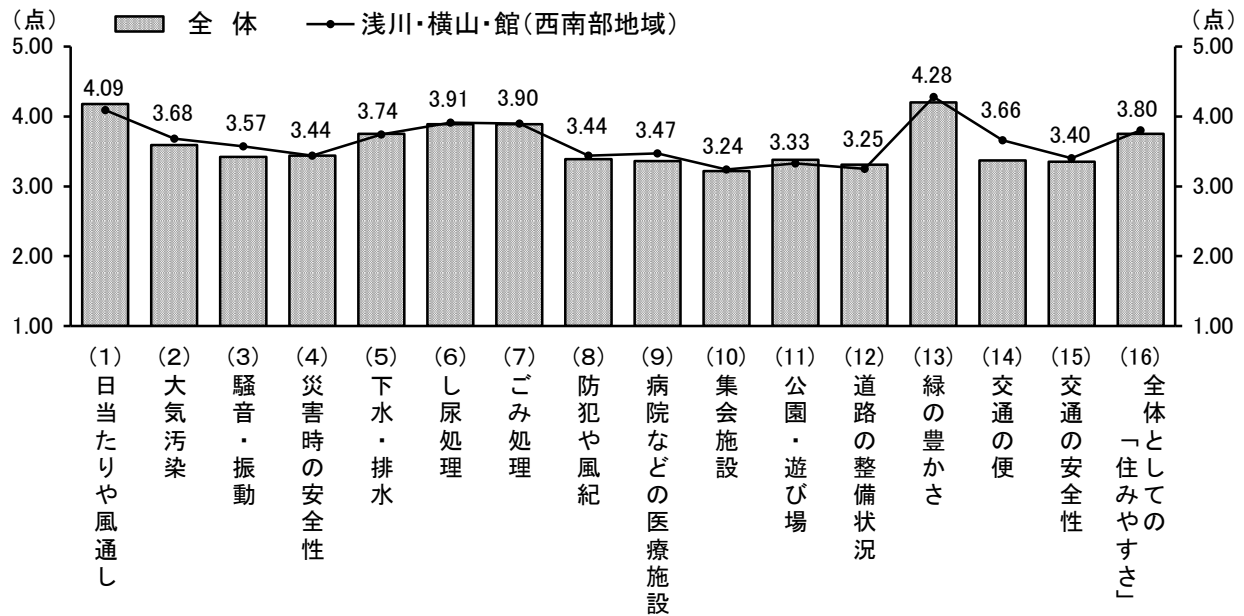
図1-6-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中11項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.29ポイント）となっている。下回っているのは16項目中4項目で、最も差が大きいのは（1）日当たりや風通し（-0.09ポイント）となっている。（図1-6-6）

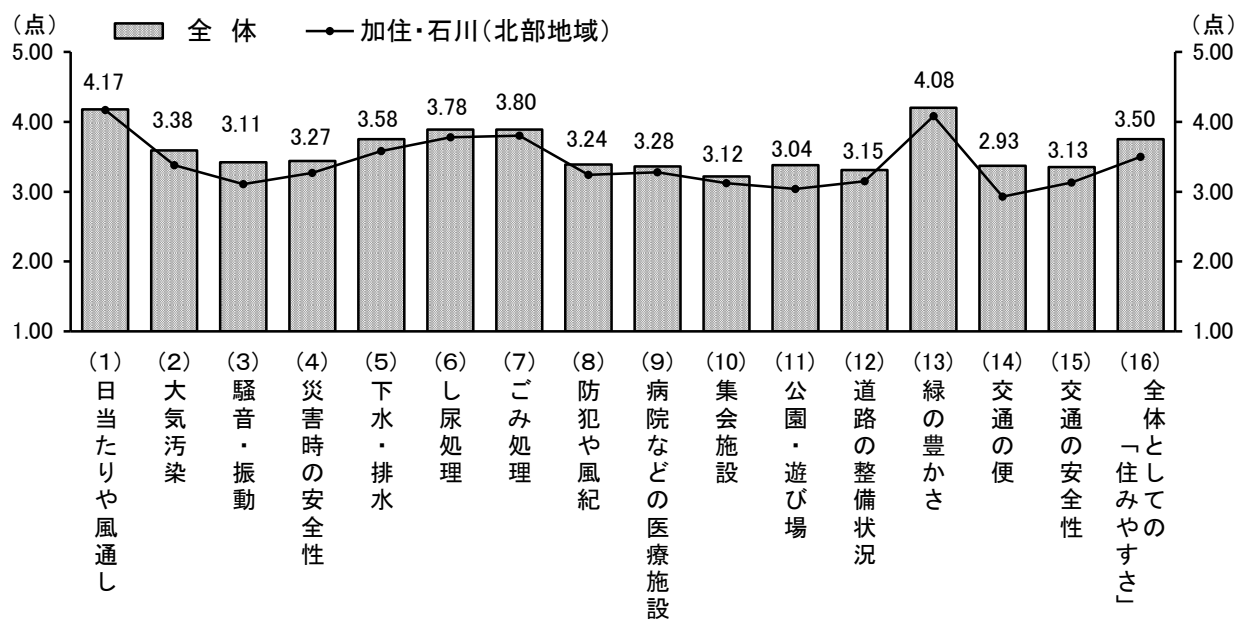
図1-6-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より下回っているのは16項目中すべての項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（-0.44ポイント）となっている。（図1-6-7）

図1-6-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」

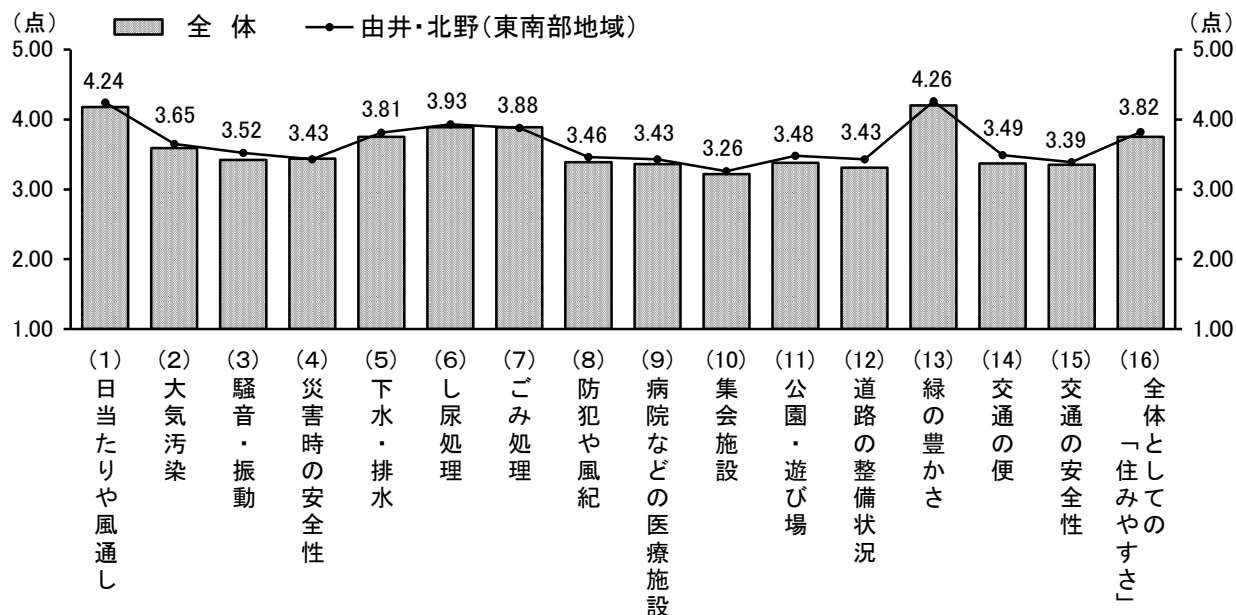


【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中14項目で、最も差が大きいのは(12)道路の整備状況(+0.12ポイント)と(14)交通の便(+0.12ポイント)となっている。下回っているのは、16項目中2項目で、(4)災害時の安全性(-0.01ポイント)と(7)ごみ処理(-0.01ポイント)となっている。

(図1-6-8)

図1-6-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中13項目で、最も差が大きいのは(12)道路の整備状況(+0.40ポイント)となっている。下回っているのは、16項目中2項目で、最も差が大きいのは(9)病院などの医療施設(-0.12ポイント)となっている。(図1-6-9)

図1-6-9 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」

